

2022年度自治体SDGsモデル事業提案概要(提案様式3)

自治体SDGsモデル事業名: 逆境を「まちの力」で乗り越える足立SDGsモデル構築事業
「やりたくてもできない」を「やりたい!」に。

提案者名: 東京都足立区

取組内容の概要: 再開発により、大きく変わる好機を迎えている綾瀬。駅前広場の整備等のハード事業とともに、チャレンジ性と包摂性を引き出す三側面の取組を進める。地域住民の第三の居場所や活動場所、ロールモデルと出会える機会を生み出す中で、子どもたちが社会とつながり、逆境を乗り越える力を培い、安心して暮らせる持続可能なまちを実現する。

経済



課題①

子どもたちのキャリア教育が乏しい
⇒多様な大人から学べる機会の提供

【取組】

- 起業体験やITスキルを修得するアントレプレナー教室
- 東京武道館を子どもたちの研究発表など自己表現の場として活用

課題②

産業分野に特色が少なく、にぎわい不足
⇒新たな価値を生み出す事業の展開

【取組】

- 間引き野菜のブランド化
- 空き店舗を活用したスマート農業
- グリーンスローモビリティの導入

- 経済活動によるCO₂排出量の削減
- エシカル消費の促進

- 環境に配慮した事業の創出
- イノベーションの誘発

環境



あやせ未来創造活動拠点プロジェクト



- **アヤセ未来会議**
地域課題を解決するプロジェクトを生み出す場
- **高架下No Border LAB**
思いをカタチにしてチャレンジできる場
- **つながるマルシェ**
人と人とのつながりが生まれる場
- **あだちSDGsパートナープラットフォーム**
SDGsに取り組む企業・団体・個人が集まる場

課題①

脱炭素社会の実現に向けたCO₂削減
⇒すべての人の積極的な行動の促進

【取組】

- 脱炭素ロードマップの策定
- 「旧子ども家庭支援センター跡地」のZEB化を目指す
- 区施設に再エネ100%電力の導入
- AI需要予測による食品ロス削減実証
- デジタル教材やアプリによる環境学習
- バイオダイバーシティの理解促進

- 子どもたちのロールモデルの輩出
- 挑戦できる環境による起業の促進
- 就業機会の創出

- イメージ改善による来街者の増(経済活性化)
- 地域産業の担い手となる人材の確保

社会



課題①

子どもたちが安心して過ごせる場所が少ない
⇒「子どもの居場所」の拡充

【取組】

- 居場所を兼ねた学習支援事業
- 学校へ行けない子への学びの場の提供
- 学校の図書室を就学前の親子向けに開放

課題②

若い世代からの「治安」への評価が低い
⇒地域等と協働による安全・安心なまちづくり

【取組】

- ビューティフル・ウィンドウズ運動
- AI顔認証システムによる防犯対策
- ドライブレコーダー映像を活用した道路危険箇所の検知

- SDGsの意識醸成
- 子ども食堂への食材を届ける機会と量の増加

- 暮らしやすいまちの形成
- 環境人材の育成